

三重アルコールと健康を考えるネットワーク第2回研修会
「総合病院内の職種連携—現状と課題」

◆開催日時:令和4年11月4日(金)18:30~20:45

◆開催方式:現地会場とオンライン同時開催

◆開催場所:三重県庁講堂(津市広明町13)

◆申込み方法:

以下 URL または右記 QR コードより

申し込みフォームにアクセスし必要項目を入力、送信ください。

<https://forms.gle/DKm4VBd56B2xVEmW8>

※オンライン参加者には後日 zoomID 及びパスワードをメールでお送りします。

◆申込み締め切り:10月30日(日)



プログラム

① 18:30~19:00

基調講演 「エチルアルコールの薬理作用と薬物治療」

☆講師 中村友喜氏 三重県立こころの医療センター 診療技術部薬剤室室長

② 19:00~20:45

シンポジウム 「総合病院内の職種連携—現状と課題」

☆司会 山本憲彦氏(三重大学附属病院総合診療科教授)

松本拓磨氏(三重県臨床心理士会会長)

☆シンポジスト

山本憲彦氏(三重大学) 総合診療科医師の立場から

村田昌彦氏(榊原病院) 精神科医の立場から

佐々木典子氏(三重大学) 薬剤師の立場から

村上清香氏(鈴鹿回生病院) 栄養士の立場から

西川恵子氏(三重中央医療センター) 看護師の立場から

兵倉香織氏(市立四日市病院) 医療ソーシャルワーカーの立場から

大塚美奈子氏(小山田記念温泉病院) 作業療法士の立場から

多くの皆さまの参加をお待ちしています



主催:三重アルコールと健康を考えるネットワーク(略称:三重ネット)

【三重ネット加入団体】

- ① 三重精神医会 ② 三重産業医会 ③ 日本プライマリ・ケア連合学会三重県支部 ④ 三重県病院薬剤師会
⑤ 三重県臨床心理士会 ⑥ 全国保健師長会三重県支部 ⑦ 日本精神科看護協会三重県支部
⑧ 三重県医療ソーシャルワーカー協会 ⑨ 三重県作業療法士会 ⑩ 三重県日本精神保健福祉協会 ⑪ 三重県栄養士会
⑫ 三重県介護支援専門員協会 ⑬ 三重県医療保健部健康推進課

会場案内地図

現地開催会場
三重県庁講堂
 (津市広明町 13)

駐車場

県庁の向かい側にあります



三重ネットを全国モデルにしよう！

猪野亜朗

総合病院には多くのアルコール関連の患者様が受診しています。それは、下記の東京都立総合病院の各科外来数調査に示されています。

しかし、ほとんどの患者様には、アルコールの視点できちんとした介入が行われていません。また、総合病院の医師だけの介入では非力の場合が多いのです。

総合病院内の関係職種のスタッフが「医師」を支えて、初めて介入は可能になり、成功すると考えます。

断酒会の全国組織の全断連には「地獄を見なければ、アルコール依存症者のいる家庭を見よ」という標語があります。

アルコール依存症は様々な深刻な問題を起こすために、このような標語が生まれたのです。しかし、適切に対応すれば、必ず回復する病気です。

●アルコール依存症になってしまえば、早期の地獄からの脱出を支援しよう！必ず脱出できます！

●アルコール依存症になっていない人は、地獄に入る前の回復を支援しよう！

●医療や福祉の関係者は、治療と予防に協力しよう！

～今回のシンポジウムもその一環です～

東京都立総合病院の外来受診者に占めるアルコール依存症疑いの患者割合

一般病院外来患者のCAGE2項目以上(アルコール依存症の疑い)の頻度(2011)

	総計	内科	外科	精神科	眼科	産婦人科
男性	21.60%	21.30%	24.90%	21.30%	21.30%	
女性	10.10%	8.70%	8.90%	10.20%	2.40%	14.10%
	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	麻酔科	他の部門	
男性	16.30%	29.20%	24.60%	19.00%	22.60%	
女性	0.00%	5.80%	3.20%	8.70%	9.60%	

CAGEの4項目

1. 飲酒量を減らさなければと感じたことがありますか？
2. 人から飲酒を非難されて気に障ったことがありますか？
3. 自分の飲酒に後ろめたさを感じたことがありますか？
4. 神経を落ち着かせたり、二日酔いを治すために迎え酒をしたことがありますか？

2項目以上はアルコール依存症疑い

Akazawa M et al. Prevalence of problematic drinking among outpatients attending general hospitals in Tokyo. 日本アルコール薬物医学会雑誌 (5), 300-313, 2013.